# 日日是Oracle APEX

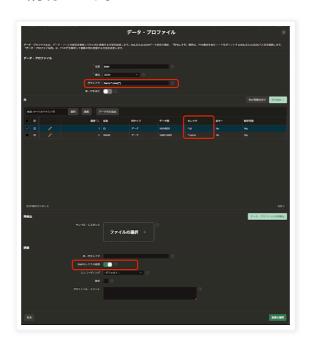
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年7月26日水曜日

## RESTデータ・ソースのRAWセレクタの使用について

Oracle APEX 23.1より、RESTデータ・ソースのデータ・プロファイルの詳細にRAWセレクタの使用というオプションが追加されました。

このオプションの効果について説明します。



データ・プロファイルは行セレクタと列のセレクタの定義を含みます。Oracle APEX 23.1以前は、これらのセレクタはサニタイズ(ダブル・クオートで囲む)した上でファンクションJSON\_TABLEで使用されていました。

Oracle APEX 23.1で追加されたRAWセレクタの使用をオンにすると、指定したセレクタはそのまま使用されます。その結果、アスタリスクを含んだセレクタが機能するようになります。

以下のJSONドキュメントを返すRESTサービスがあるとします。

```
"id": 2,
              "name": "Sam"
         }
       ]
     },
     "rs2": {
       "rows": [
            "data" : {
              "id": 23,
              "name": "Jane"
         },
            "obj": {
              "id": 24,
              "name": "Kate"
         }
       ]
    }
  }
}
```

属性rs1、rs2を区別せず、また、dataとobjも区別せずに4行のデータとしてRESTデータ・ソースが返すようにするために、RAWセレクタの使用をオンにして、行セレクタと列のセレクタに以下を指定します。

行セレクタ: **items.\*.rows[\*]** 列IDのセレクタ: **\$.\*.id** 列NAMEのセレクタ: **\$.\*.name** 

**RAWセレクタの使用がオフ**のときは、Oracle APEXが指定した**行セレクタ**の末尾に**[\*]**を追加します。そのため**行セレクタ**に**[\*]**は付けません。**RAWセレクタをオンにしたときは、開発者が行セレクタの末尾に<b>[\*]**を追加する必要があります。

内部的には以下のようなSOLが実行されます。セレクタがそのまま使われています。

```
select jt.*
from raw_test r, json_table(r.data, '$.items.*.rows[*]'
  columns
  (
    id number path '$.*.id',
    name varchar2(20) path '$.*.name'
  )
) jt;
```

RAWセレクタがオフの時に実行されるSQLは以下です(行セレクタの末尾からは[\*]を除いています)。

```
select jt.*
from raw_test r, json_table(r.data, '$."items"."*"."rows"[*]'
  columns
  (
    id number path '$."*"."id"',
    name varchar2(20) path '$."*"."name"'
```

) ) jt;

アスタリスクが含まれている場合、上記のSELECT文は行を返しません。

Oracle APEX 23.1で追加された行セレクタの説明は以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 17:28

共有

**ホ**ーム

### ウェブ バージョンを表示

#### 自己紹介

#### Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.